

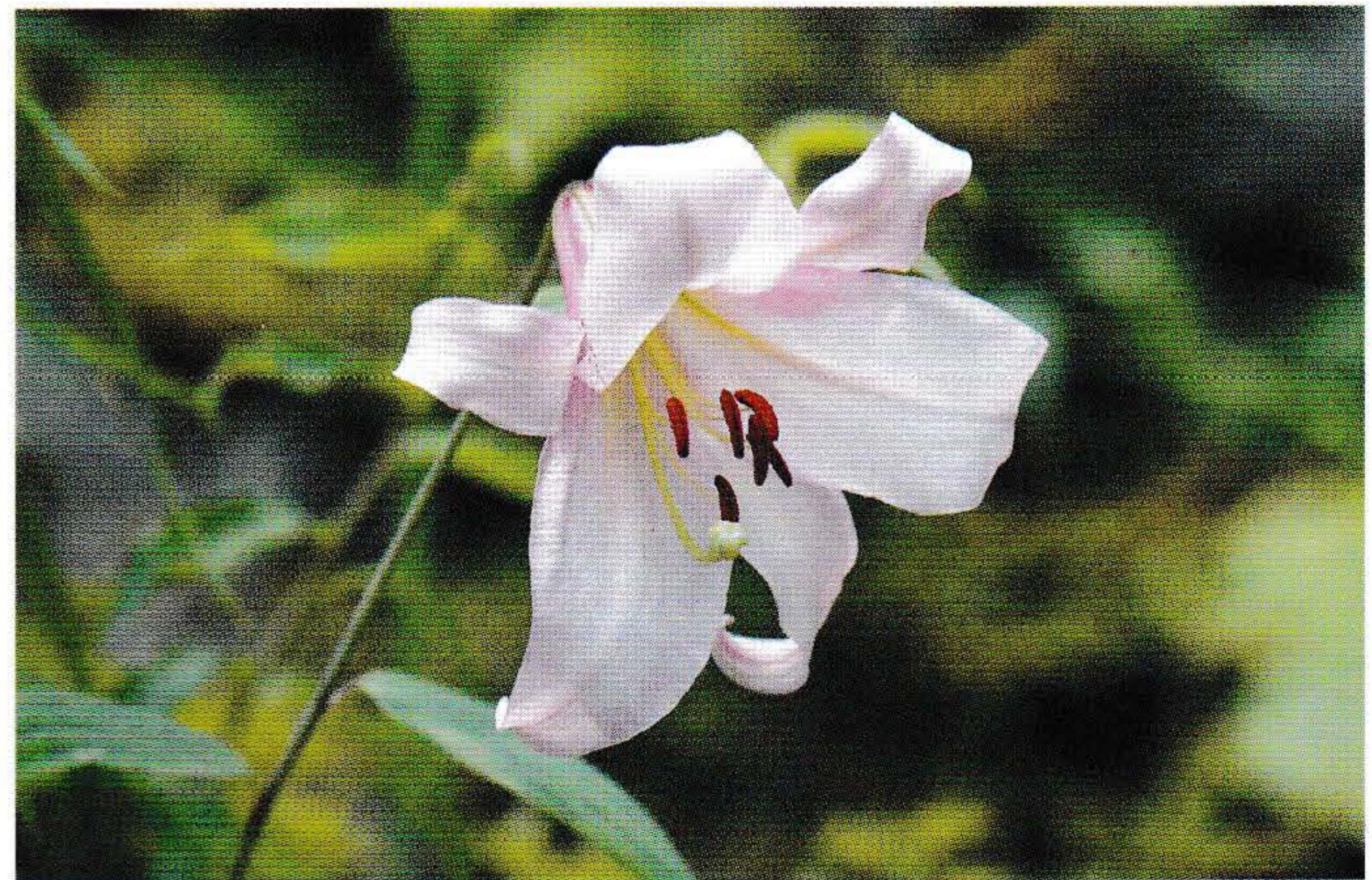
まも 守りたい希少種

座光寺には絶滅が危惧される希少な植物が残っています。これらの種類は県や環境省の絶滅危惧種に指定されているものもあります。野にある美しい花を咲かせる植物は自分の庭に植えたくなるもの。でもちょっと待つて下さい。その一本が絶滅への歩みを進めるかも知れません。何万年もの間、ずっと野で育ってきたのです。そっと野において、みんなで楽しみながら守っていこうではありませんか。



カザグルマ

野生のテッセンといったところでしょうか。5月末に径12cmほどの大きな花を咲かせます。長野県指定絶滅危惧種ⅠB類、環境省カテゴリー絶滅危惧Ⅱ類。座光寺はこの地域の北限になります。



ササユリ（ユリ科）

昔は座光寺の里山に広く生えていたのですが、絶滅したと思われていました。2007年に南本城に生き残っていることが発見され、麻績の里振興委員会の人たちが保護に乗り出しています。長野県指定準絶滅危惧種。



クチナシグサ

大変に貴重な種類です。長野県で現在、この種類が確実にあることが知られている場所はありません。座光寺でも2007年に2個体記録されただけです。

長野県指定絶滅危惧種ⅠB類。



ムラサキニガナ（キク科）

全国的には大変に少ない種類ですが、南本城にはたくさん生えています。2年草ですが、その生活史と地域の人の南本城の手入れのバランスがうまく合ったためと思われます。

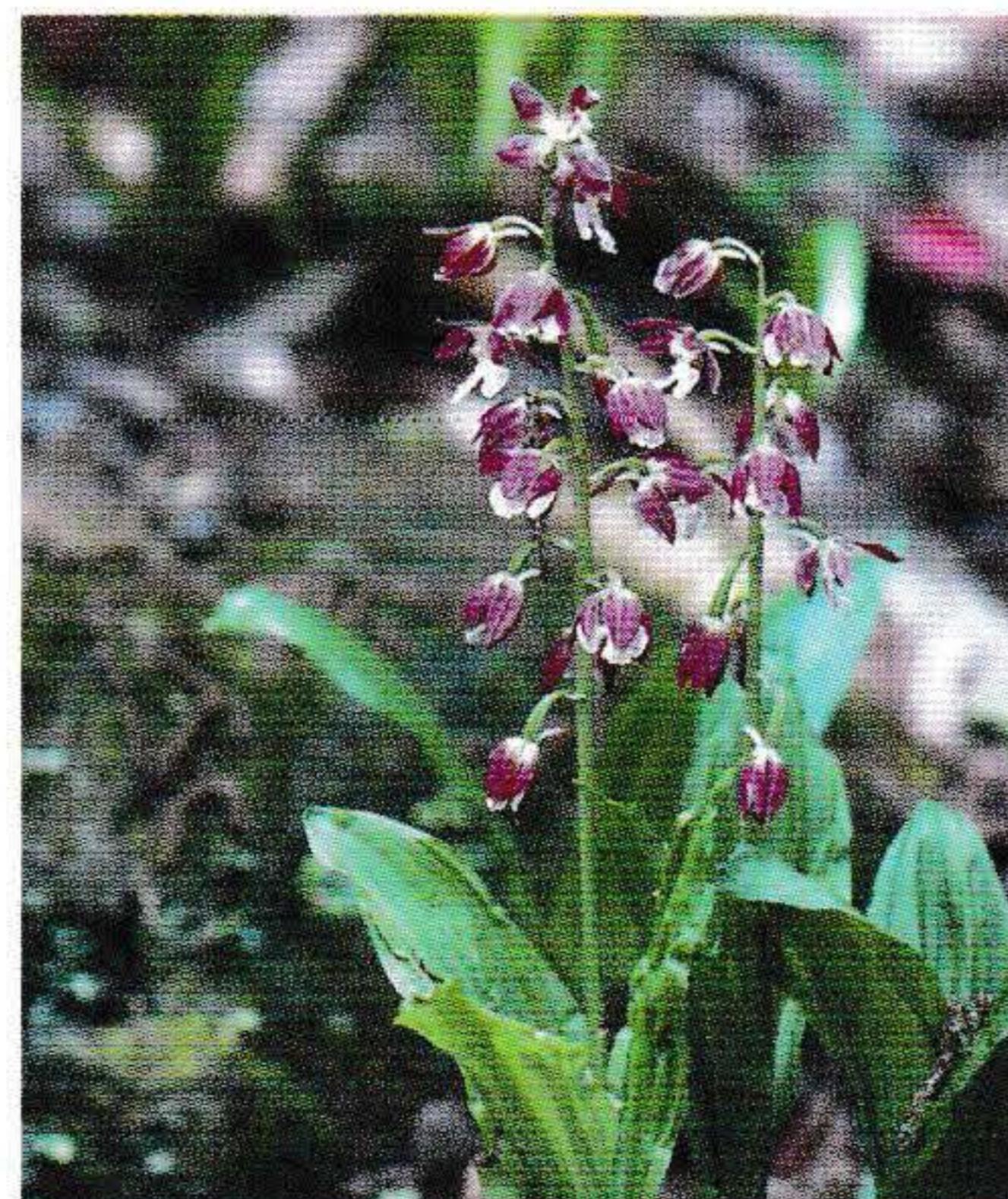
長野県指定絶滅危惧種Ⅱ類。

里山の失われた動植物

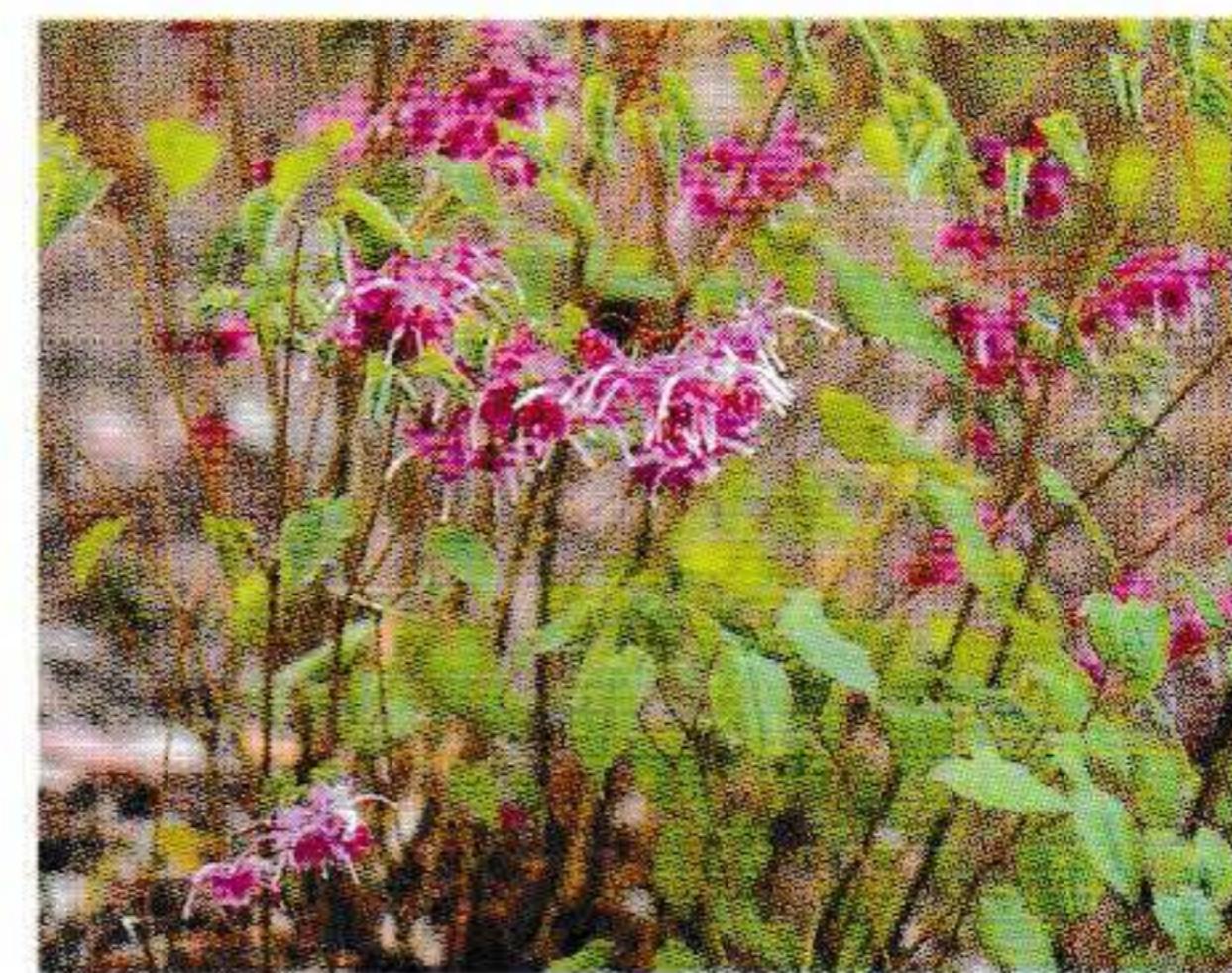
1960年前後の高度経済成長時代を通じて、伊那谷の人々の生活や地域の自然が大きく変化しました。宮崎地区でもいくつかの動植物が消えてしまいました。その様子をこの地で生まれ育った熊谷鉄男さん（57才）からお聞きしました。さらに他の何人かからも頂いた情報を元に、失われた動植物について記録しておきたいと思います。ただ、これらの種類の中にはまだ、どこかに生き残っている可能性があります。見つけたら、大事にしたいものです。



ジエビネ（左）ナツエビネ（右）



一本杉の少し上、山に50mほど入った所には1970年頃エビネ2種類があった。



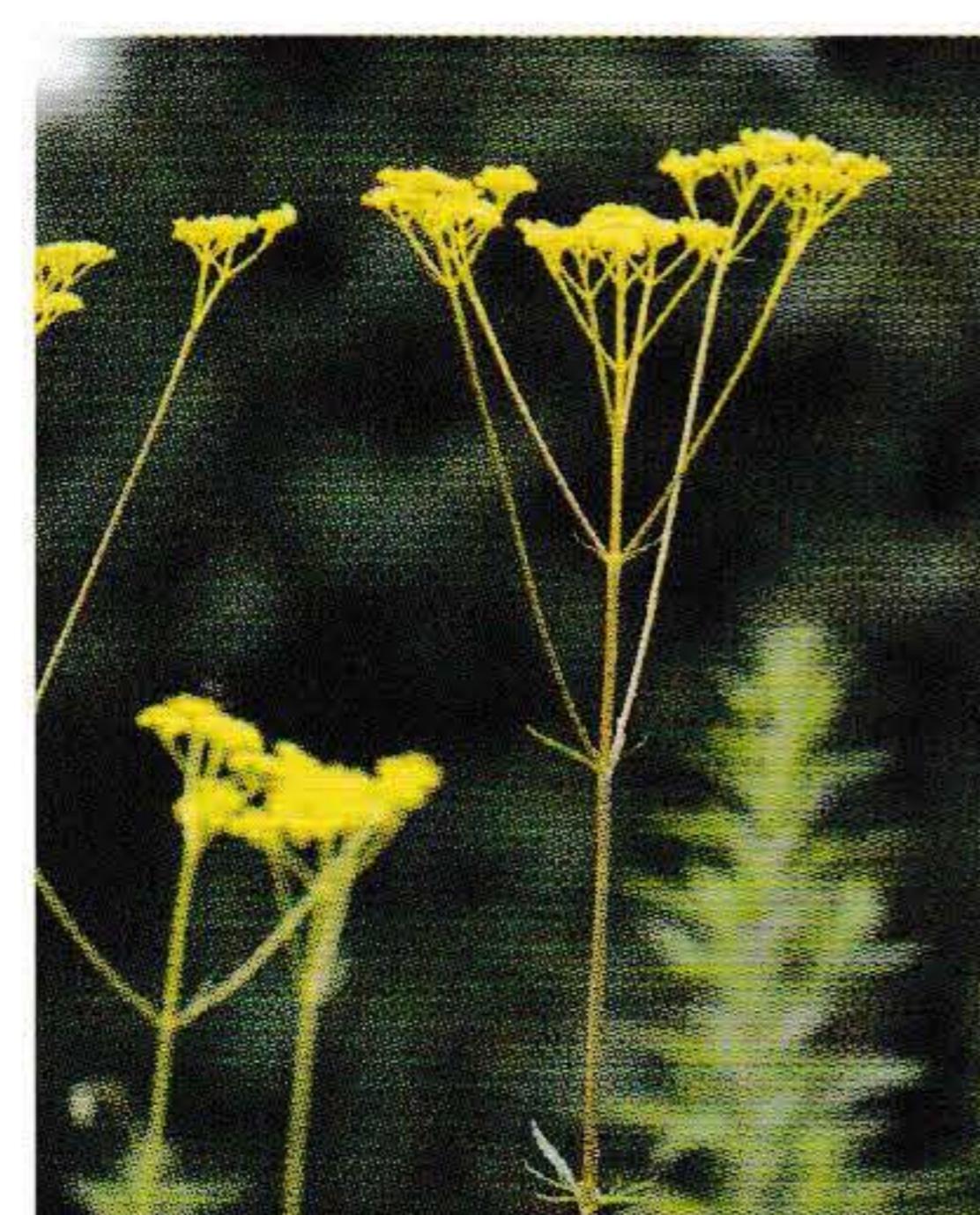
イカリソウ
西の沢の中ほどにあった。
付近にモミジガサもあった。



フシグロセンノウ
土曾川の最上流部、座光寺富士
の登り口付近にあった。



ギンラン
西の沢の林の中で見たことがある。



オミナエシ（左）キキョウ（右）
大門原の上の山にはオミナエシやキキョウがあって、
お盆には採りに行ったものだった。



その他のなくなつた種類

(西の沢)

ヒトリシズカ
フタリシズカ
キンラン

(大門原やその上)

オキナグサ
ヤグルマソウ
イワウチワ
マツムシソウ
マイヅルソウ



宮崎にはサギソウが群生する湿地があつた。数は大変に多く数え切れなかった1970年頃まであったように思う（吉川和夫・中島聰さん）この場所には今でもノハナショウブ、ヌマトラノオ、ツルアリドウシ等の湿地の植物があります。



サギソウ



モウセンゴケ

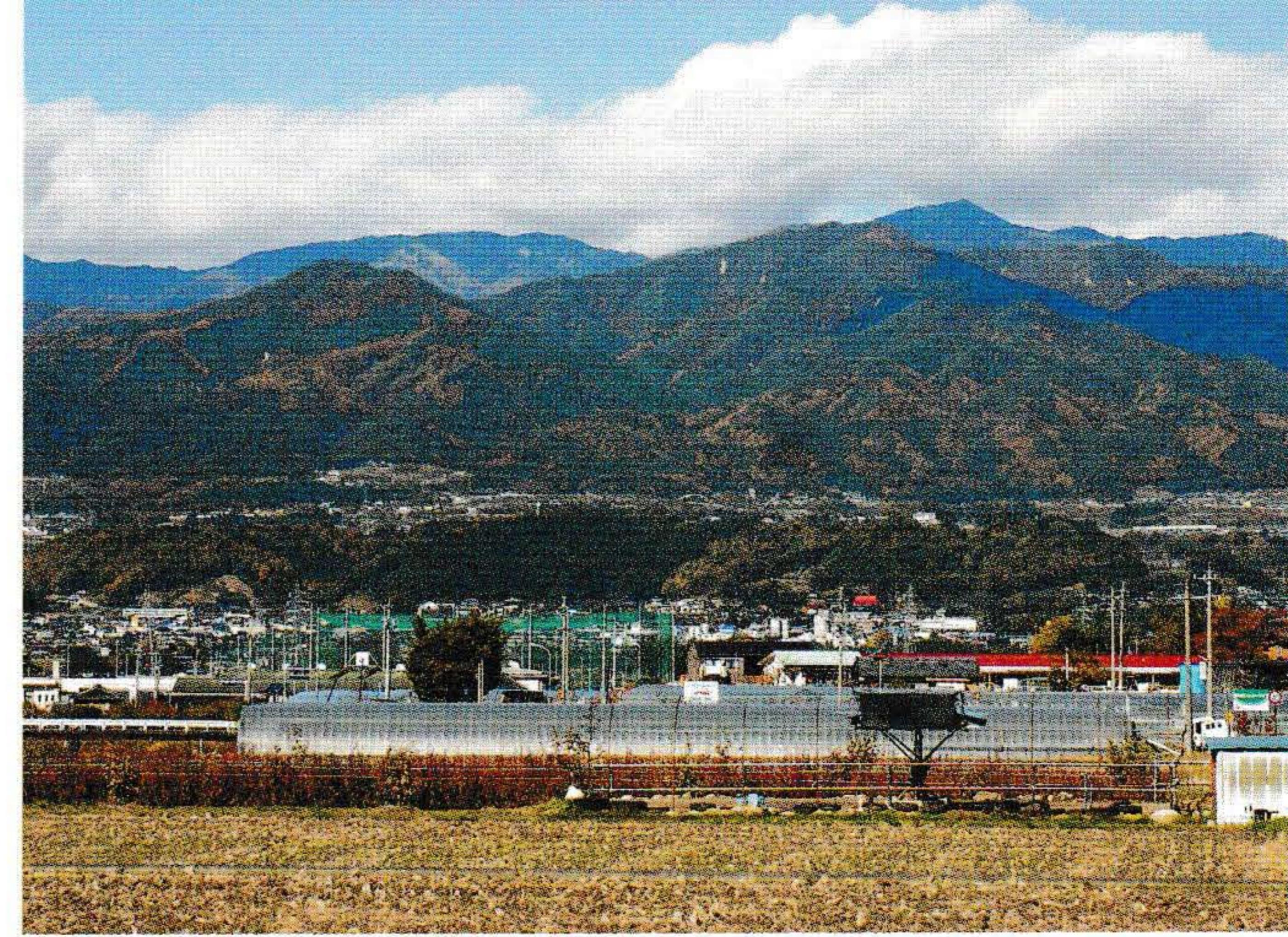


ハッショウトンボ
モウセンゴケやサギソウのあった大門原の湿地に棲んでいた（熊谷さん）。

（小林正明）

こうよういつ 紅葉は何時ごろがきれい?

晩秋になると山の木々が紅葉をします。これは厳しい冬の寒さに耐えるために木が葉を落とす準備を始めたのです。里山の紅葉に入々はさまざまな感慨をもちます。座光寺の紅葉は何時ごろがきれいなのでしょう。



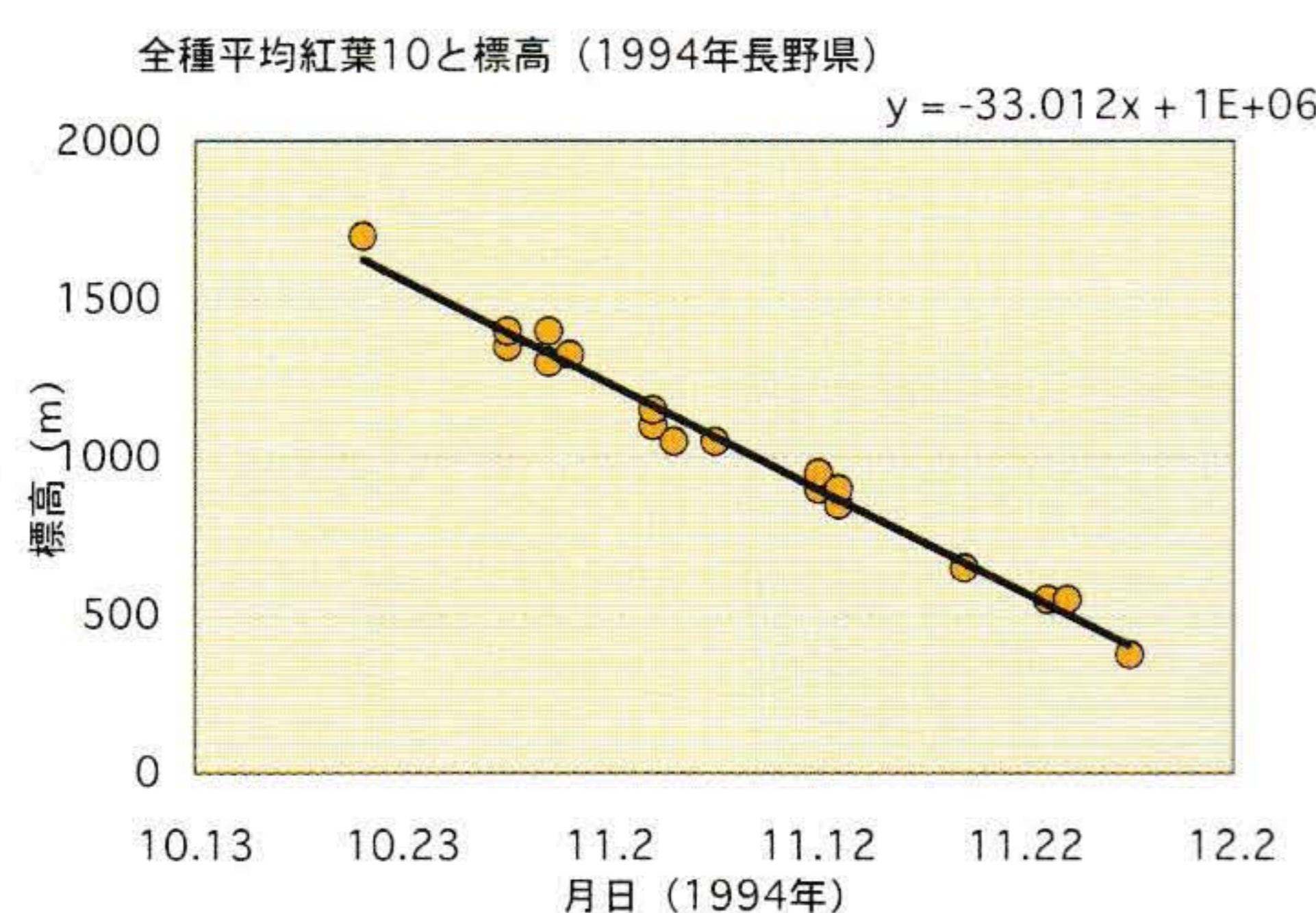
中河原地区から座光寺富士の紅葉を見る
(2006年11月15日撮影)

紅葉の記録方法

山に登りながら、周りに見える植物全種類の紅葉の平均値を見ます。これを10段階で記録するのです。1割ほど紅葉したものを1、半分紅葉したものを5、いちばん紅葉が見事なものを10としました。全種類の紅葉の平均は分りにくいものです。そこで自分の周囲とともに向かい側の山を見て判断しました。

山の上から降りてくる

1994年に長野県内の山で24ヶ所の紅葉10の記録をとりました。それを上のグラフに表しました。10月21日に標高1,700mで紅葉10、11月27日には標高375mで紅葉10でした。紅葉は山の上から下に降りてくるのです。そのスピードは一日に33mでした。



紅葉前線が山から降りてくる (1994年の長野県内のデータより) 紅葉率10の場所の日と標高をプロットすると反比例していることがわかる。座光寺の標高560m地点の紅葉率10の年度別変化。早い年と遅い年には18日の差がある。



座光寺の標高560m地点の紅葉率10の年度別変化。早い年と遅い年には18日の差がある。

座光寺の紅葉の年度別の変化

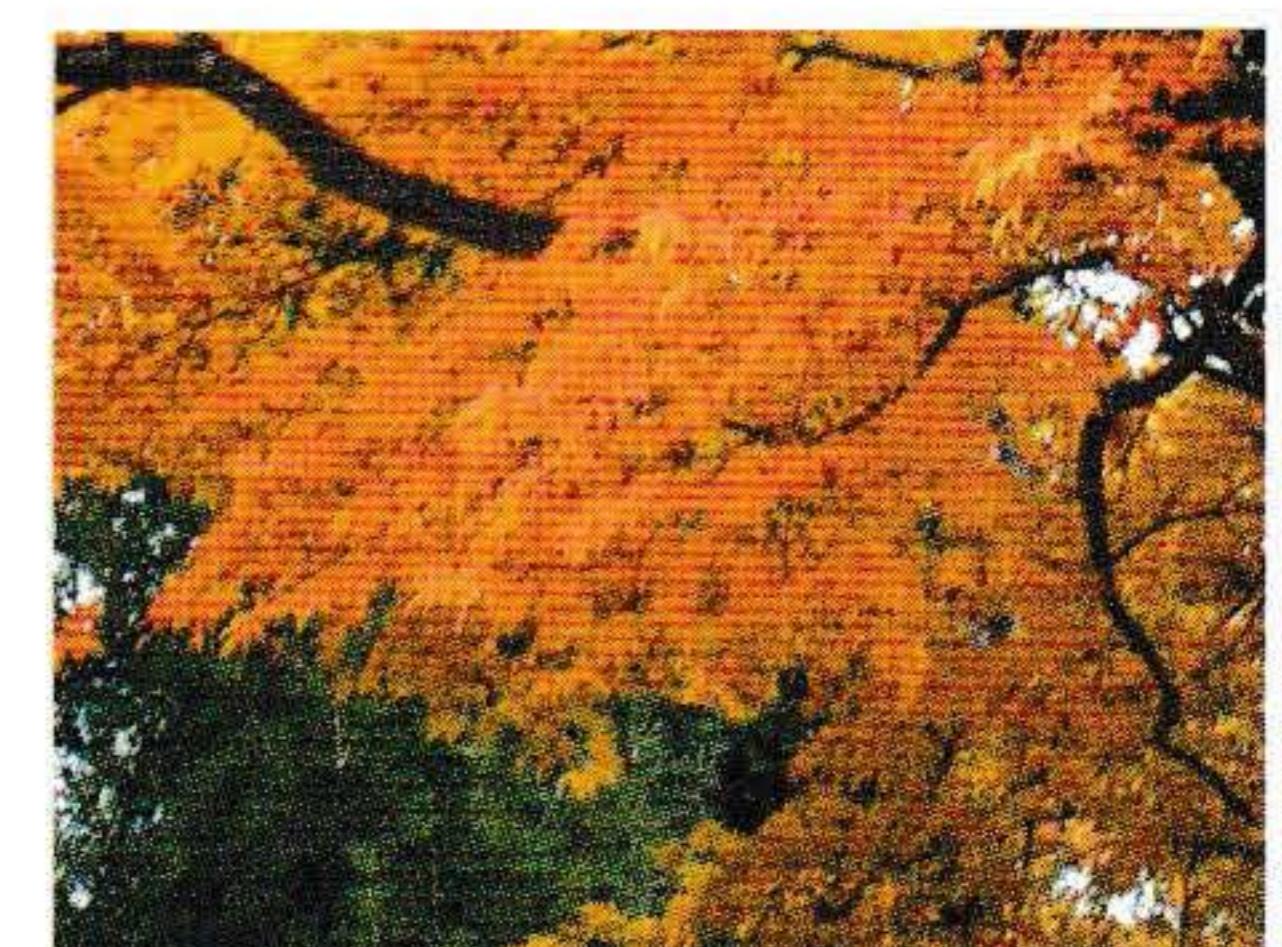
座光寺の標高560mの所で紅葉10になる日を1992年から1996年までの間、記録しました。標高560mは宮崎橋下付近で、その様子をグラフに表しました。グラフから紅葉時期は年によって変化することが分ります。調べた間の最も早かったのは11月11日 (1996年)、遅かったのは11月29日 (1999年)、平均は11月18日でした。

美しく紅葉する種類

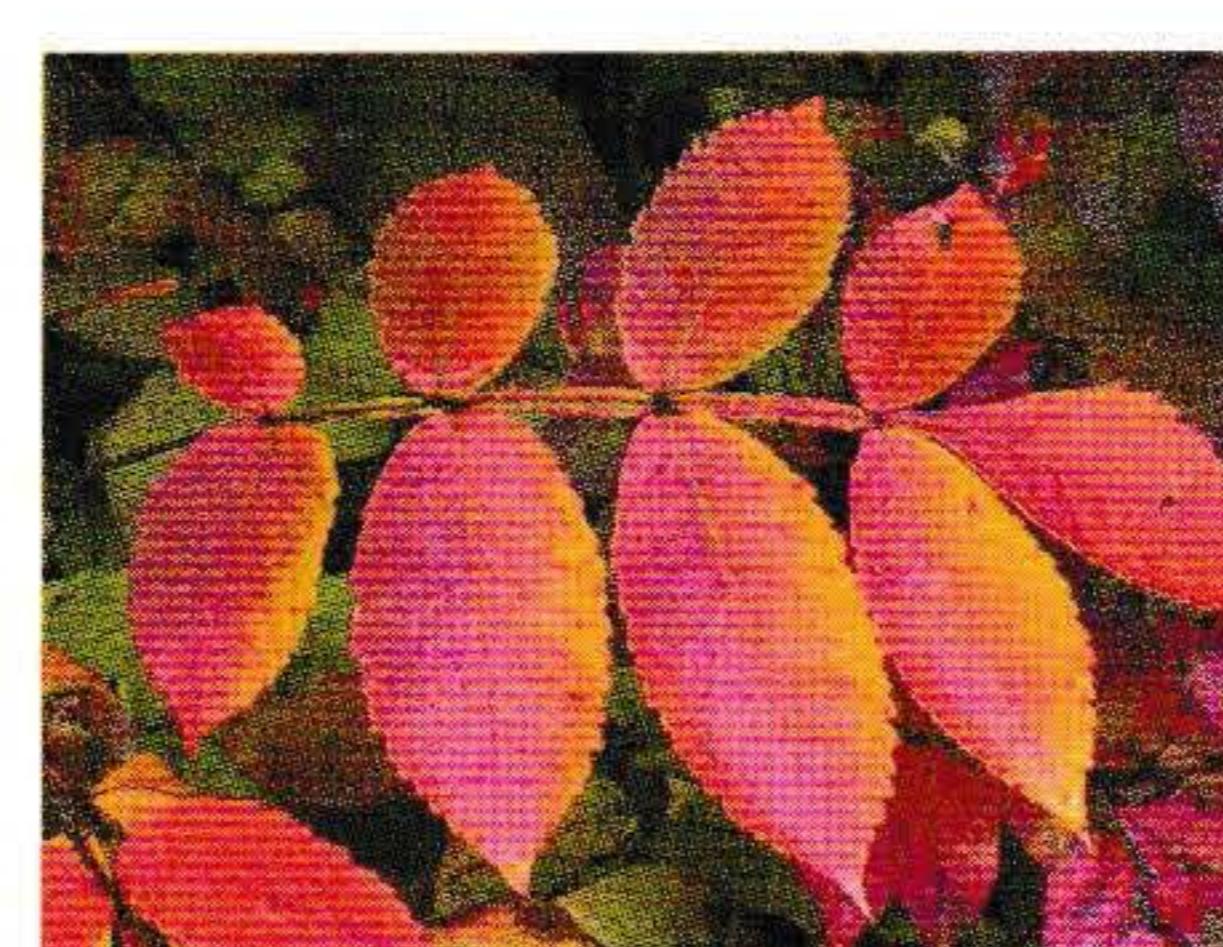
赤く紅葉するのはヤマウルシ、ヌルデ赤や黄色が混じるのはウワミズザクラ、カスミザクラ、黄色いのはフジ、ヤマブキ、ケヤキ、イチョウなどです。



オオモミジ



ヤマモミジ



ヌルデ



ケヤキ



アオハダ



ウワミズザクラ

(小林正明)